

「建設企業の社会貢献とは？」 もっと議論を深めましょう

●CNCP はあなたが参加し、楽しく議論し、活動する場です●

今月のひとこと

このところ“社会貢献”という言葉にちょっと引っかかって考え込んでいます。

先月号で書いたように、私たちは公共事業に全力で取り組む中で、しっかりと社会貢献してきたという自負があるので、いまさら議論することに違和感を覚えるのも事実です。

改めてネット検索している時に、トヨタ自動車のHPで次の文を見つけました。『「クルマづくりを通じて社会に貢献する」という理念を創業の原点とし、社会の持続的発展に寄与できるように努めてきました。活動の取り組み分野としては、本業を通じた社会貢献に加え、



「環境」「交通安全」「人材育成」をグローバル重点3分野としています。それに各国・各地域の社会ニーズに応じて「社会・文化」などの分野を加え・・・』と書かれていました。本業を通じた社会貢献は、もはや当たり前前のことであり、さらに社会との結びつきを強める努力をされているということでしょうか。バブル時代に企業経営の在り方が問題になり、会社は誰のためにあるのか？株主のためか？従業員のためか？という議論が盛んに行われました。その頃に比べても、現在は企業活動がますます巨大化し、社会に及ぼす影響が格段に強まっていると感じます。よく考えれば企業が株主や従業員のためにあるのは当然で、それを越えて社会・市民生活にどう役に立つのか、へと世の中の議論が進展したということかなと思います。（代表理事 山本 隆）

Vol.42 コンテンツ

巻頭言	イノベーション（技術・制度）とインフラの作り方・使われ方の変革	藤本 貴也	2
コラム	担い手不足はサードセクター分野でも	駒田 智久	3
トピックス	各方面からの期待が高まる第三回無電柱化推進展	井上 利一	4
明治 150 年企画(2)	土木技術の危機 その二 衰退する地方都市	三上 靖彦	6
部門活動紹介	社会的インパクト評価について	足立 忠郎	7
会員からの投稿	「共助社会」について思うこと	臼田 総一郎	9
サポーターからの投稿	もうすぐ 80 歳	松井 隆	10
お知らせ			11
事務局通信			12